

「脳血管障害と義肢装具士—片麻痺と装具の最先端—」

主催 日本義肢装具士協会
企画 日本義肢装具士協会 研修委員会

研修委員会では、「一つの症状・傷病・障害に対して、義肢装具士としてユーザーの生活全体を考える」を主題として取り組んでいます。平成 22 年度は「脳血管障害と義肢装具士」と題してセミナーを開催いたします。我々、義肢装具士が日々の業務の中で、頻繁に接する症例の一つだと思います。今回のセミナーは、二日間のプログラムで実施します。初日は、「本来、義肢装具士として知っておくべき内容！」しかし、普段は中々聴けない脳血管障害に関する基礎的内容と、急性期から慢性期における装具処方・診断の基準について専門医からわかりやすく講義していただきます。二日目は、「事例から学ぶ装具療法」と題して、大変興味深い最先端の取り組みについて報告していただきます。本セミナーを通して、「長年続いた装具の冬の時代」を打ち破り、今後の業務の発展に役立てていただければ幸いです。皆様のご参加を、研修委員会一同お待ちしております。

記

- 内 容： 脳血管障害と義肢装具士—片麻痺と装具の最先端—
- 脳血管障害の基礎知識：その原因とメカニズム
 - 脳卒中患者の治療と診断：急性期から在宅に向けて
 - 事例から学ぶ装具療法：装具の選定と調整過程
- ※ 詳細は、今後も本協会 HP 上でもお知らせします。
- 日 時： 平成 22 年 9 月 4 日（土）12：00～17：00
平成 22 年 9 月 5 日（日）9：00～13：00
- 会 場： 東北福祉大学ステーションキャンパス
- 定 員： 100 名
- 参 加 費： 会員：¥3,000、非会員：¥7,000、学生会員：無料
- 申込締切： 平成 22 年 8 月 18 日（定員になり次第、×切）

以上

参加ご希望の方は、件名に「日本義肢装具士協会 全国セミナー申込」と記載の上、必要事項（以下の記載事項）をご記入の上、E-mail にてお送りください。

申し込み後に、メールにて申込確認及び会場案内等に関するお知らせをさせていただきます。

【申し込み・問合せ先】

担当幹事：関川 伸哉（東北福祉大学） E-mail：shinya@tfu-mail.tfu.ac.jp

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 記載事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

- ・ 会員種別：会員・非会員（会員の際には会員番号も記載して下さい）
- ・ 会員番号：（会員のみ記入）
- ・ 受講者氏名（ふりがな）：
- ・ 勤務先名：
- ・ 連絡先：（勤務先・自宅；どちらかを明記ください）

〒

Tel・Fax

義肢装具士協会全国セミナー2010「脳血管障害と義肢装具士―片麻痺と装具の最先端―」

2010/05/9現在

会場：仙台 東北福祉大学ステーションキャンパス(S500教室)

開始日	時間	講義名(タイトル)	要旨	講師名(等)	所属	
2010/9/4	11:00	会場設営・事前準備開始				
	11:30	受付開始				
	12:20	セミナー趣旨説明等・開会の挨拶		早川・関川	日本義肢装具士協会	
	12:30	講義-1	何故、脳血管障害が起こるのか？―その原因とメカニズムについて(基本編)―	医学的視点から、そのメカニズムについてご講演頂きたい。また、生活習慣を含めた予防と発症時の基本的対応等について触れて頂きたい。	関 和則 (MD)	東北大学大学院医学系研究科
	13:30	休憩				
	13:40	講義-2	脳卒中患者の診断と治療―入院直後から回復期にかけて―	発症直後からの治療過程とその後の障害に関する診断基準等についてご講演頂きたい。主に、障害が落ち着く回復期までの過程を中心にお願したい。	関 和則 (MD)	東北大学大学院医学系研究科
	14:40	休憩				
	14:50	講義-3	脳卒中患者の治療と診断―在宅復帰に向けて―	急性期を終え、在宅復帰に向けた過程について、装具の果たす役割と「その後の障害の変化に関する具体的対応(推測)」についてご講演頂きたい。	千田 富義 (MD)	東北文化学園大学(前・秋田県立リハビリテーションセンター長)
	15:50	休憩				
	16:00	講義-4	最近の装具機能と歩行	講義1～3の内容を踏まえ、再度、装具機能とそれらの機能が歩行に及ぼす影響について整理する。本講義内容を理解した上で、翌日の事例を学ぶ。	関川 伸哉 (PO)	東北福祉大学
	17:10	質疑応答				
17:30	初日終了					

開始日	時間	講義名(タイトル)	要旨	講師名(等)	所属	
2010/9/5	9:30	講義-5	事例から学ぶ装具療法①―急性期から慢性期にかけての症状(障害)の変化に対する装具選定・調整過程―	主に病院内で行われている装具療法の過程を具体的事例からご講演頂きたい。	横田元実 (PT)	藤田保健衛生大学
	11:00	休憩				
	11:20	講義-6	事例から学ぶ装具療法②―急性期から慢性期にかけての症状(障害)の変化に対する装具選定・調整過程―	主に病院内で行われている装具療法の過程を具体的事例からご講演頂きたい。	高木治雄 (PT)	長崎 医療法人慧明会貞松病院 リハビリテーション科
	12:50	閉会の挨拶		栗山明彦	日本義肢装具士協会	
	13:00	セミナー終了				